

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年												2024年							
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月 ~7日	4月 ~14日	4月 ~21日	4月 ~28日	5月 ~5日
カンピロバクター	48	30	46	63	57	67	75	49	29	47	43	65	20	24	38	3	7	12	3	1
病原性大腸菌	47	37	55	103	120	108	102	56	52	49	80	102	43	61	105	23	25	30	11 (16)	4
腸管出血性大腸菌	1	1	4	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0
サルモネラ	7	2	2	7	7	13	25	6	12	15	6	9	4	4	2	2	3	0	2	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	15	10	13	14	21	8	12	15	18	21	18	16	6	4	16	1	1	5	0 (1)	0
黄色ブドウ球菌 MRSA	13	10	14	15	14	10	11	11	9	5	9	16	8	6	12	2	0	4	0	0
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	2	0	0	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
アデノウイルス	0	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ノロウイルス	14	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	4	9	20	10	1	0	0	2	0

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和6年第18週(4月29日~5月5日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	5	結核	5	1		1		3		
三類	0	発生なし	0							
四類	12	A型肝炎	1					1		
		重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	1						1	
		デング熱	1							1
		日本紅斑熱	9	1		6				2
五類	1	梅毒	1							1

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 手足口病

定点当たり0.95人の報告がありました。感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染です。手洗いの励行、オムツの適切な処理、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。

2 流行性角結膜炎

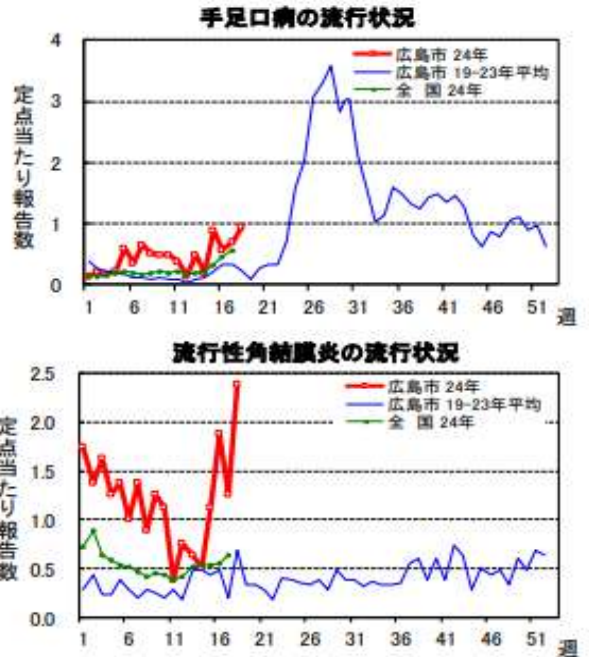
定点当たり2.38人の報告がありました。流行性角結膜炎は、アデノウイルスを原因とする急性の結膜炎です。感染力が強く、小児から大人まで幅広い年齢層で見られます。手洗いの励行、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。

3 RSウイルス感染症

定点当たり1.27人の報告がありました。おもちゃや手すりなど手の触れる部分の消毒や手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を心がけましょう。

4 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.62人の報告がありました。引き続き、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
インフル	インフルエンザ	6	0.18	0.86			小児科	ヘルパンギーナ	-	-	0.05		
	新型コロナウイルス(COVID-19)	55	1.62					流行性耳下腺炎	-	-	0.03		
小児科	RSウイルス感染症	28	1.27	0.34			眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		
	咽頭結膜熱	8	0.36	0.27				流行性角結膜炎	19	2.38	0.68		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	33	1.50	0.61			基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		
	感染性胃腸炎	86	3.91	2.79				無菌性髄膜炎	-	-	-		
	水痘	2	0.09	0.16				マイコプラズマ肺炎	-	-	-		
	手足口病	21	0.95	0.23				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	伝染性紅斑	-	-	0.08				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.20		
	突発性発しん	5	0.23	0.28									

急増減 ↑ (1.2以上の増減)
 増減 ↗ (1.15~2の増減)
 微増減 ↘ (1.1~1.5の増減)
 横ばい ⇐ (ほとんど増減なし)

前週と比較しておおむね
 1:2以上の増減
 前週と比較しておおむね
 1:1.5~2の増減
 前週と比較しておおむね
 1:1.1~1.5の増減
 ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	34
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

今週(第18週)は、ゴールデンウィークの休診の影響で、報告数が少なくなっている可能性があり、前週(第17週)と適正な比較ができないことから、発生記号は表示していません。

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	30	20歳代、50歳代、80歳代
4	A型肝炎	1	3	60歳代